

学力分析シート【学年：3年 教科：英語科】

実施日：令和3年5月8日 実施テスト名【実力テスト】 作成者【片本 真衣】

課題が大きいと考えられる問題(正答率が低い、県(全国)との差が大きい)

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県(全国)		
1-2-①	リスニング やや長い英語の対話を聞き、その内容を理解し、英語の質問に答えられるかみる。	66.4	70.3	内容がきちんと聞き取れていないこと、主語が何かきちんと聞き取れず間違った選択肢を選んだと考えられる。	日々のリスニングでメモを取って聞くことや、誰が何をしたのかなど、5W1Hを意識して聞くことを伝えていく。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県(全国)		
3 — 3	対話文読解 本文の内容について英語で問われそれに対して答えられるかみる。	2.1	4.8	対話の大まかな内容や、前後のつながりが把握できていない。英語で問われた内容が理解できていない。	英語でスモールトークをする活動を取り入れていく。教科書の内容に対して英語で問われたことに対して答える問題も解いていく。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県(全国)		
4-1-②	英作文 日本語に合うように適切な英文を書くことができるかみる。	4.2	7.1	基本英文の型が定着しておらず、日本語を直訳しようとしている。英単語が覚えられていない。	英文の構造(S+V)が定着するよう音読や書く活動などアウトプットの機会増やし、反復練習を行う。

例

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
1四 (1)ア	「対象」 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	39.1	48.2	「対象」と書かなければならないところを「対称」や「対照」と間違う児童が多かった。算数科の「対称」と間違う児童が多い。同音異義語に課題がある。漢字の意味を考えながら漢字の習得が図られていないと考えられる。	○新出漢字の学習時には、同音異義語を指導する。 ○宿題の漢字練習においては、字形の練習だけでなく、熟語の練習も行う。(例)対称な図形をかく。 ○新出漢字の練習を学期の始めに実施し、反復練習を行う。